

押小だより

てんしんらんまん

天真爛漫



令和6年3月1日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第16号
文責：仁平 博幸

6年生に感謝の気持ちを伝えるために

2月22日（木）に、児童会活動として、「6年生を送る会」を行いました。

前回の学校便りで紹介した、12月の「感謝の集い」に引き続き、今度は、1～5年生が、卒業する6年生に感謝の気持ちを伝える大切な行事です。

この行事では5年生が中心となって、計画を話し合い、内容を決めて、準備を進めていきます。5年生の話し合う様子は真剣そのもの。時折、担任からの助言もありますが、子どもたちが主体となって話し合い、準備を進めていました。6年生の写真を6年間の思い出として会場の掲示物やプレゼントに作り上げたり、下級生にお願いしたメッセージカードを集めたり、また、会場の装飾を作ったりと、休み時間なども寸暇を惜しんで進めていました。そんな子どもたちと話していると「6年生のみんなが喜んでくれるといいな」「6年生が楽しんでもらえるようになっているかな」と、6年生のことを考えていることがよく伝わってきました。



左の写真は、ある日の4年生の教室です。4年生は送る会の会場である体育館の壁飾りを作る大役がありました。この時間、4年生の子どもたちは、どんな飾りを作るか話し合っていたのです。しばらく様子を見てみると、ここでも真剣になって話し合っています。「6年生が喜んでもらえる飾りにしよう」「今までと違うものを作りたい」「今年の干支の龍が昇っていく感じの飾りはどうか」「6年生一人一人を飾れるといい」というような意見が出ています。そして、その数日後、4年教室では、子どもたちが壁飾りを作っていました。どんな壁飾りができるのか、私も楽しみにしていました。

1年生から3年生も、6年生へ心を込めてお祝いのメッセージカードを準備しました。

当日、4年生が一生懸命に話し合っていた壁飾りが飾られ、そして前日から5年生が一生懸命に準備していた体育館会場です。

4年生の壁飾りは、話し合っていた「龍」で、その龍に、6年生一人一人が乗っているものでした。一生懸命に作ったのがよく分かる、まさに「大作」です。5年生による会場準備も、花をいろいろちりばめたり、また廊下には、6年生へのプレゼントになるメッセージカードを掲示したりと、学校全体が送る会に包まれているようでした。

雪が舞う寒い日でしたが、入っただけで、あたたかさを感じる、感謝の気持ちが伝わる会場となっていました。



5年生の司会進行で会が始まり、6年生が一人ずつ、ポーズを決めて入場。個性がキラリと光っていました。

続いて、5年生代表児童によるあいさつは、代表児童の一生懸命さと感謝の気持ちが本当に伝わるお話でした。あとで聞いてみると、あいさつは自分で考え、練習や準備をしてきたとのこと。作文を見ずに、6年生を見ながらあいさつをしている様子は本当に立派でした。手にしていたあいさつが書かれた作文用紙をあとで見せてもらいましたが、誰に見せることのない作文の字がとても丁寧に書かれていました。このことから、心が込められたあいさつであったことが分かります。「あいさつはとても緊張しました。あいさつの文は自分で考えてよかった

なと思います。6年生の人たちがよく聞いてくれて、私の気持ちが届いたかなと思ってうれしかったです。

す。」と、代表児童はうれしそうでした。その様子を見て私もとてもあたたかな気持ちになりました。

あいさつの後、クイズ&ゲーム「クイズ6年生に聞きました」(…2択の楽しい問題でした。ステージ上の5年生二人がクイズを盛り上げてくれました。)、プレゼント贈呈(まつのみ班の在校生が6年生にメッセージを書いたものです。)、合唱&スライドショー(入学の頃からを振り返ります。6年生は写真に見入って、「こんなことあったね」「わーかわいい!」などと歓声が上がっていました。)を行いました。

最後に、6年生からのお礼の言葉(代表児童の堂々とした言葉、すばらしかったです。)&お返しのプレゼント(在校生一人一人にしおりのプレゼント。しおり一つ一つにメッセージが書いてあります。)&がありました。一緒に遊んだり、なわとびをしたり、花を植えたりした「まつのみ班」(縦割り班)ごとに集まり、6年生をお祝いしました。



このように、在校生が、「6年生のために」という「相手意識」をもってメッセージカードやプレゼント、飾り付けなどを行い、当日も心を込めて活動しました。在校生にも卒業生にも、思い出に残る送る会になったと感じています。私も、今回の子どもたちの姿から、この「相手意識をもつ」ということがとても大切であることをあらためて学びました。

「6年生のため」を大切に、一人一人が一生懸命に取り組み、あたたかいすてきな送る会になりました。

6年生の子どもたちには、残りわずかの小学校生活を一日一日、一時間一時間を大切に、思い出を育んでほしいと思います。そして、会を運営した5年生の子どもたちに感謝しています。また、すてきな時間をみんなでもてたことに幸せを感じています。6年生を含め全ての子どもたちに感謝しています。ありがとう。(仁平博幸)

◎その他、2月の学校の様子をご紹介します。

2月2日(金)

○授業参観・学年PTA

多くの保護者の皆様に来校いただきました。次年度のPTA組織づくりもお世話になりました。



2月5日(月)

○認知症サポーター養成講座(4年)

市役所の方を講師に招き、認知症のことや、その支援の仕方を学びました。



2月7日(水)

○健康教室(5年)

助産師の先生にお越しいただき「生命の誕生」(生・性に関する指導)の授業を行いました。



2月15日(木)～16日(金) ○臨海自然教室(5年)

今年度は2月、真冬の臨海自然教室でしたが、幸い、天気もよくあたたかな二日間元気に行ってきました。モトクロス、ナイトウォーク、貝の根付けづくり、塩づくりなどを体験しました。



押上小がこんな学校に…
「一人一人が主人公の学校」
「みんなが幸せを感じる学校」
『また明日ね』と
笑顔で帰れる学校」

※学校ホームページも、少しずつ記事を更新しています。よろしければアクセスください。

